

【石川県】金沢大学泌尿器科



みなさん、こんにちは！今回は金沢大学泌尿器科に入局し8年経過した私が、実際に経験した当教室の魅力に焦点を当てて皆さんにお伝えしたいと思います。

【当院の立地】

まず始めに金沢大学病院の立地について紹介をさせていただきます。金沢大学病院は石川県の中心部に位置しており、石川県内の重症



患者や専門的治療が必要な患者を幅広く受け入れています。また、すぐ近くには日本三大庭園の一つである兼六園や石川県最大の繁華街もあり、絶好の立地となっています。

【金沢大学泌尿器科教室について】

金沢大学医学類は150年以上の歴史をもち、その中で泌尿器科学教室は1955年に設立されました。2016年8月からは溝上敦教授が第4代教授に就任され、教室を率いています。古い歴史がある故に関連施設も多く、石川県内だけでなく富山・福井の基幹病院の多くと連携を図っております。同門会員も150名を超え、北陸随一の大学病院となっております。

【キャリアパスについて】

金沢大学泌尿器科専門研修プログラムは4年の研修期間のうち1年間を金沢大学泌尿器科で勤務し、残りの期間を関連施設で研修することとなります。そして専門医取得後は、基礎実験に勤しみ博士号を取得します。その後の進路は多岐にわたり、関連病院での研鑽を積む医師、大学で研究と臨床に携わる医師、海外に留学する医師など自分の興味のある分野を極めていくこととなります。

【臨床研修について】

次に泌尿器科医として研鑽を積む上での金沢大学病院の魅力についてご紹介します。

①手術を執刀できる

当院では積極的な手術の参加を奨励しており、専攻医1年目は経尿道的膀胱腫瘍切除術や精巣摘除術などの手術を執刀します。年間30-40例程を執刀医として経験することができます。また泌尿器領域の手術はロボット手術 (da Vinci) が主体となっていますが、当院では第一助手として手術参加することができます。実際

に手を動かす事で得られる経験は大きく、術野展開の理解や手技取得の助けになります。さらにフィードバックも重視しており、その取り組みの一環として月に1回、講師主催のビデオミーティングが行われています。手術動画を供覧することで、様々な角度からアドバイスをもらうことができ、早いステップアップにつながります。

②最先端の知識が学べる

当院は勉強会が盛んに行われており、新薬が出たタイミングでいち早く情報を得ることが可能となっております。また前立腺癌や膀胱癌を中心とした治験に多く参加しています。治験に参加することで次世代の治療薬を保険承認される前に使用する機会を得られます。そのため、他より早く薬剤の有効性や有害事象対策などといった使用経験を積むことができます。さらに基礎研究にも力を入れています。医局員は基礎研究を通じて学位を取得しており、基礎の知識を通して臨床データを読み解く能力を培うことができます。

③若い医師が多い

金沢大学病院には、専門研修や学位取得のために若い医師が集っています。毎年10年目以下の先生が10名前後勤務しており、毎日医局が活気に溢れています。今はコロナ禍で自粛しておりますが、飲み会や医局主催のイベントも盛んに行われており、医局員同士の親睦を深める機会に溢れています。

【最後に】

当教室は「患者への思いやりの心をもつ」という溝上敦教授の理念の基に臨床面のみならず、精神的でも患者を支えることを大切に考え、日々の業務に臨んでいます。泌尿器科としてのキャリアアップのみならず、医師としての成長に興味を持たれた先生は金沢大学泌尿器科教室までぜひ連絡してください！

連絡先 泌尿器科医局

TEL : 076-265-2393

Mail : urology@med.kanazawa-u.ac.jp

